

		<p>金属の支柱と半月によって補強されたもの</p> <p>2 支柱なし</p> <p>金属支柱のないもの</p> <p>G 軟 性</p> <p>ゴムひもを用いて足関節を背屈位に保つもの</p>	
	ツイスター	<p>骨盤帯と足部を布ひも、ゴムひも又は鋼製ケーブルによって結び、下肢の内外旋を制御するもの</p> <p>A 軟 性</p> <p>布ひも又はゴムひもを用いたもの</p> <p>B 鋼製ケーブル</p> <p>鋼製ケーブルを用いたもの</p>	
	足底装具	<p>足部に対する装具であつて、靴型装具以外のもの</p> <p>A アーチサポート（ふまず支え）</p> <p>足の縦アーチを支えるもので、中足支えを含むものを基本とすること。</p> <p>1 陽性モデルを用いてモールドされたもの</p> <p>2 採寸によって製作されたもの</p> <p>B メタターサルサポート（中足支え）</p> <p>足の中足アーチを支えるもの</p> <p>C 補 高</p> <p>1 2 c m未満</p> <p>2 2 c m以上</p> <p>D 内側及び外側楔</p>	<p>踵骨棘用装具は、補高に含まれること。</p> <p>スピッツイ及びトムゼンライン（ふまず支え）は、A－2に含まれること。</p> <p>ランゲ（ふまず支え）は、A－2に含まれること。</p>
靴型装具		<p>医師の処方のもとに治療に用いられる靴であつて、ふまず鋼の入っているものを基本とすること。</p> <p>皮革又は布を主材料としたもの</p> <p>A 長 靴</p> <p>下腿の上部に及ぶもの</p> <p>B 半長靴（編上靴）</p> <p>側革が果部より高いもの</p> <p>C チャッカ靴</p> <p>側革が果部に及ぶもの</p> <p>D 短 靴</p> <p>側革が果部より低いもの</p>	<p>靴型装具の要素</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・整形靴（陽性モデルから作成した特別製の木型を用いるもの）</li> <li>・矯正靴（内・外反足の矯正用）</li> </ul>

体幹装具	頸椎装具	<p>肩甲骨から頭蓋に及ぶものを基本とすること。</p> <p>A 金属枠</p> <p>B 硬 性（スポンジラバーを含む。）</p> <p>陽性モデルを用いてモールドされたもの</p> <p>1 不燃性セルロイド</p> <p>2 皮 革</p> <p>3 プラスチック</p> <p>C カラー</p> <p>1 あご受けのあるもの</p> <p>2 あご受けのないもの</p> <p>D 斜頸矯正用枕(障害児に限る。)</p>		高さ調整は、カラーの場合には適用しないこと。
	胸椎装具	<p>骨盤から胸背部に及ぶもの</p> <p>A 金属枠</p> <p>B 硬 性（頸椎装具に準ずる。）</p> <p>C 軟 性</p>		
	腰椎装具	<p>骨盤から腰部に及ぶもの</p> <p>A 金属枠</p> <p>B 硬 性（頸椎装具に準ずる。）</p> <p>C 軟 性</p>		<p>ナイトブレイスは、金属枠腰椎装具に含まれること。</p> <p>ウィリアムブレイス、前屈ブレイスは、金属枠腰椎装具・腰部継手付に含まれること。</p>
	仙腸装具	<p>骨盤を含むもの</p> <p>A 金属枠</p> <p>B 硬 性（頸椎装具に準ずる。）</p> <p>C 軟 性</p> <p>布を主材料にし、板ばねで補強したもの</p> <p>D 骨盤帯</p> <p>骨盤を帯状に一周するもの</p> <p>1 芯のあるもの</p> <p>2 芯のないもの</p>		<p>オスグッドブレイス、コールドウェイトブレスは、金属枠仙腸装具に含まれること。</p>
	側弯症装具	<p>脊柱側弯症の矯正に用いるもの。原則として24時間の連続装着しうるものであること。</p> <p>A ミルウォーキー型</p> <p>骨盤から頭部に及ぶもの</p>		

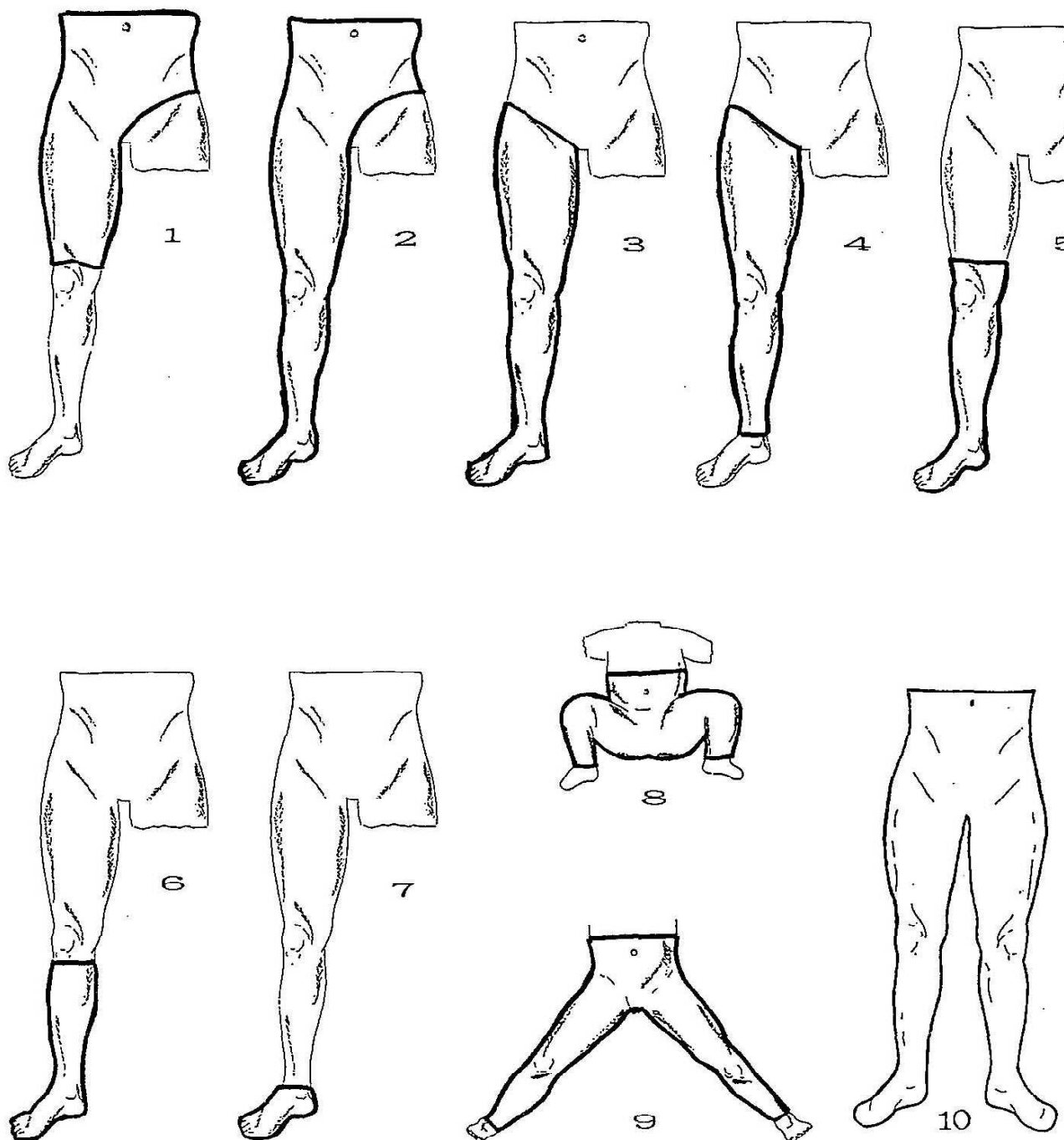
		<p>B 頭部に及ばないもの</p> <p>1 金属棒</p> <p>2 硬 性（仙腸装具に準ずる。）</p> <p>3 軟 性（帯状のものを含む。）</p>		
上肢装具	肩 装 具	<p>肩関節を外点位に保持するもので、骨盤から前腕に及ぶものを基本とすること。</p> <p>A 金属棒 体幹の部分が金属棒のもの</p> <p>B 硬 性 陽性モデルによつてモールドされたもの。金属支柱により補強されたものも含まれること。</p> <p>1 不燃性セルロイド</p> <p>2 皮 革</p> <p>3 プラスチック</p> <p>C 分娩麻痺用（障害児に限る。）</p>		
	肘 装 具	<p>上腕から前腕に及ぶもの</p> <p>A 両側支柱 両側に金属支柱をもち、金属の半月をもつもの</p> <p>B 硬 性 陽性モデルを用いてモールドされたもの。金属支柱により補強されたものも含まれること。</p> <p>1 不燃性セルロイド</p> <p>2 皮 革</p> <p>3 プラスチック</p> <p>C 軟 性</p>		
	手関節背屈保持装具	<p>前腕から手部に及ぶもので、手関節を背屈位に保持するもの</p> <p>A パネル型 前腕部と手部を板ばねによつて結ぶもの</p> <p>B トーマス型 ゴムによつて手関節を背屈位に、母指を外転位に保つもの</p> <p>C オッペンハイマー型 鋼線を主材料として、手関節背屈、MP伸展、母指外転位をとらせ</p>		

	<p>るもの</p> <p>D 硬 性</p> <p>1 不燃性セルロイド</p> <p>2 皮 革</p> <p>3 プラスチック</p>			
長対立装具	前腕から手部に及ぶもので、手関節を背屈位に保持し、母指を対立位に保つもの。高力アルミニウム合金等にフェルトの内張りした構造を基本とすること。			
短対立装具	母指を対立位に保つもの。高力アルミニウム合金等にフェルトの内張りした構造を基本とすること。			
把 持 装 具	<p>前腕から手部に及ぶもので、母指と示中指間におけるつまみを可能にするもの。通常は高力アルミニウム合金等にフェルトの内張りしたものを基本とするが、プラスチックを主材料としたものも含まれること。</p> <p>A 手関節駆動式</p> <p>手関節の運動によってつまみを可能にするもの</p> <p>B ハーネス駆動式</p> <p>ハーネスを力源とするもの</p>			
MP 屈曲補助装具（ナックルベンダー）及びMP 伸展補助装具（逆ナックルベンダー）	<p>手部から示指より小指の基節に及ぶもので、MP 関節を屈曲又は伸展させるもの</p> <p>A パネル型</p> <p>ゴムを用いるもの</p> <p>B プラスチック</p> <p>C 軟 性</p>			
指装具（指用ナックルベンダー及び指用逆ナックルベンダー）	P I P 及び D I P 関節を伸展位又は屈曲位、あるいは内外反位に保持するもの			
B F O（食事動作補助器）	前腕を平衡をとった状態で支え、ボールベアリングを利用してわずかな力で運動を可能にしたもの			付属品として車いすを加えることができること。

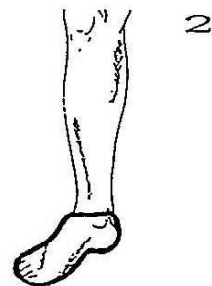
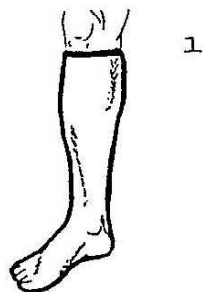
ア 基本工作法

工 程	作 業 の 内 容
(ア) 患肢及び患部の観察	患部の表面の状況、関節の運動機能（屈伸、内転、外転等）の状況並びに肢位の観察及び特長の把握
(イ) 採寸及び投影図の作成	情報カードの記録、製作に必要な寸法及び角度の測定並びに記録並びに投影図の作成
(ウ) 採 型	ギプス包帯法による陰性モデルの採型
(エ) 陽性モデルの製作	陰性モデルへのギプスの注型、陽性モデルの修正、表面の仕上げ及び乾燥
(オ) 組立て	陽性モデルにデザインの記入（アライメント） フレーム：曲げ加工、組立て及び調整 モールド：プラスチック板切断、加熱成形加工、トリミング及び調整 筋金、締め革、足部覆い、足底板、ネックリング、パッド、ベルト等の仮止め及び各部の結合
(カ) 仮合わせ(中間適合検査)	筋金、締め革、足部覆い、足底板、ネックリング、パッド、ベルト等の調整、試し使用及び仕上げ
(キ) 仕上げ	筋金、締め革、足部覆い、足底板、ネックリング、パッド、ベルト等の付属品の取付け及び仕上げ
(ク) 適合検査	装具の適合の最終検査並びに装着及び使用による機能の最終検査

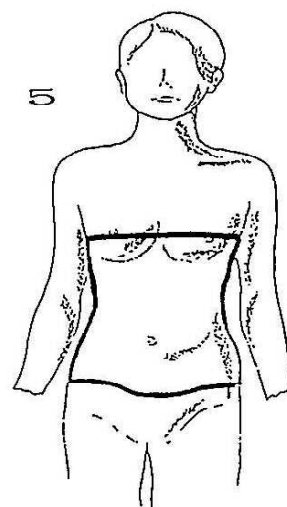
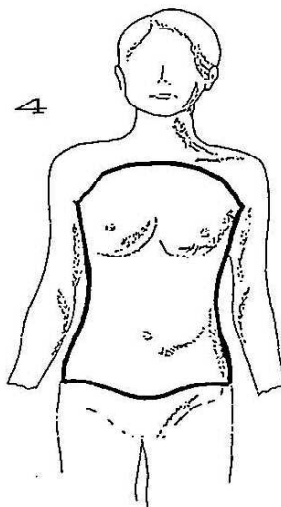
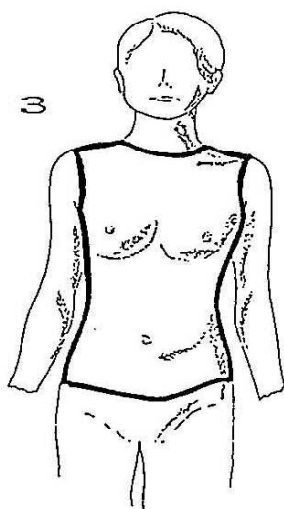
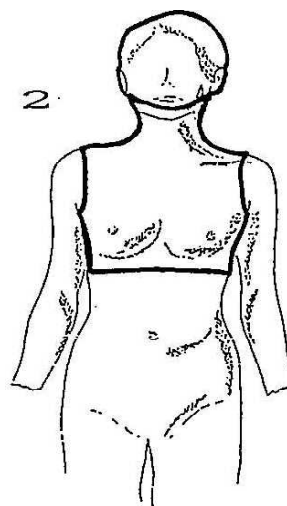
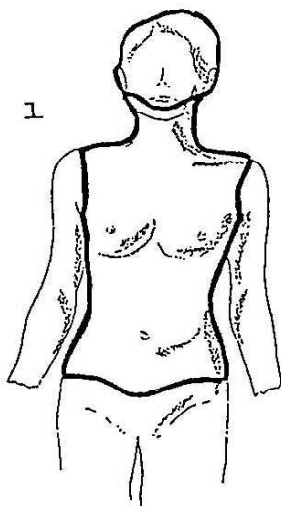
イ 採型区分  
A 下肢装具



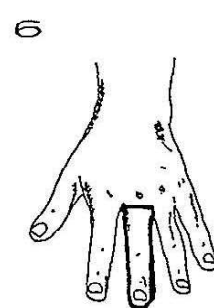
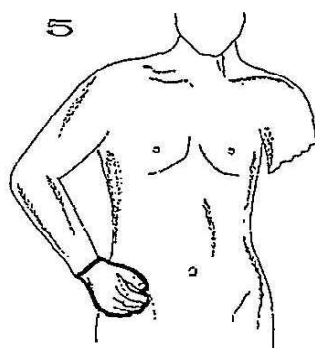
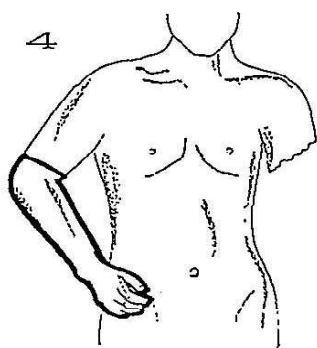
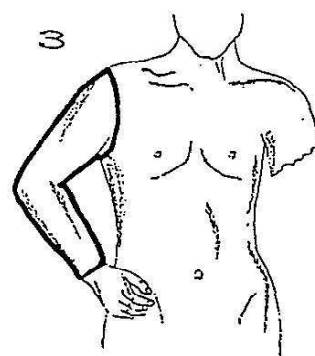
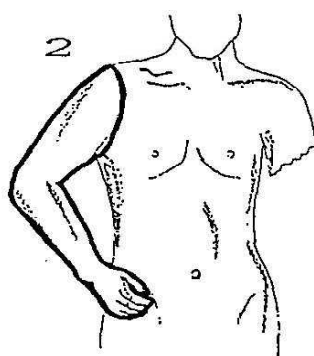
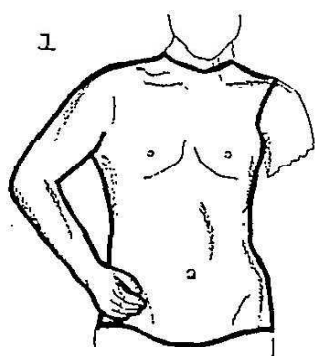
**B 靴型装具**



**C 体幹装具**



## D 上肢装具





ウ 基本価格

名 称	採 型 区 分	価 格 円		備 考
		採 型	採 寸	
下肢装具用	A － 1	25,700	7,800	
	A － 2	39,500	15,400	
	A － 3	29,000	14,750	
	A － 4	18,700	7,450	
	A － 5	17,100	7,250	
	A － 6	15,500	7,100	
	A － 7	11,200	6,100	
	A － 8	21,700	7,700	
	A － 9	23,400	7,800	
	A － 10	49,500	14,300	
靴型装具用	B － 1	15,500	7,100	
	B － 2	11,200	6,100	
体幹装具用	C － 1	30,200	8,200	
	C － 2	23,500	7,550	
	C － 3			
	(金属枠、硬性)	23,000	7,100	
	(軟性)	7,100	7,100	
	C － 4			
	(金属枠、硬性)	19,700	6,950	
	(軟性)	7,000	6,950	
	C － 5			
	(金属枠、硬性)	17,300	6,750	
	(軟性、骨盤帯)	6,750	6,750	
上肢装具用	D － 1	31,400	8,300	
	D － 2	17,000	7,250	
	D － 3	15,500	7,000	
	D － 4	13,700	6,800	
	D － 5	11,000	6,200	
	D － 6	8,250	4,400	

(注)

- 2種類以上の装具を組み合わせた装具の場合は、個々の価格のうち、最も高い価格とすること。
- 補高足部（脚長差を補正するために使用する義足用足部をいう。以下同じ。）を使用する場合は、32,700円増しとすること。
- 補高足部は、健肢とに大幅な脚長差が生じる場合にのみ加えることができること。
- 補高足部の場合は、エの(イ)のbの付属品等の加算要素として補高の価格を加算することができないこと。
- 採型によりカーボン製装具の製作にチェック用装具を要する場合、用いたチェック用装具の形状に応じ、次に

掲げる額（複数に該当する場合、それらの合計額）を加算できること。

（１）チェック用装具が「大腿部」を含む場合 16,600円

（２）チェック用装具が「下腿部」を含む場合 15,500円

（３）チェック用装具が「足部」を含む場合 9,100円

## エ 製作要素価格

### （ア） 下肢装具

#### a 継 手

名 称	種 類	価 格 円	備 考
股 継 手	固 定 式	6,000	
	遊 動 式	7,150	
膝 継 手 (片 側)	固 定 式	5,900	
	遊 動 式	6,400	
	プラスチック継手	13,700	
足 継 手 (片 側)	固 定 式	4,950	
	遊 動 式	5,850	
	プラスチック継手	10,150	

#### （注）

- 1 固定式継手は、継手のない支柱を使用する場合にのみ用いることができること。
- 2 遊動式継手は、継手のある支柱を使用する場合にのみ用いることができ、固定・遊動切替式のものも含まれること。
- 3 鋼線支柱は、遊動式の価格とし、片側を1単位とすること。
- 4 短下肢装具用の板バネ支柱は、足継手の遊動式の価格とすること。
- 5 可撓性のプラスチック継手（継手部分として独立した形状を有するものに限る。）の場合は、プラスチック継手の価格とすること。ただし、ヒンジ継手の場合は、片側を1単位とすること。

b 支持部

名 称	種 類	価 格 円	備 考
大腿支持部	A 半月	4,450	
	B 皮革等		
	1 カフバンド	7,700	
	2 大腿コルセット	15,300	
	C モールド		
	1 熱硬化性樹脂	25,200	
	2 熱可塑性樹脂	10,300	
下腿支持部	A 半月	4,250	
	B 皮革等		
	1 カフバンド	6,550	
	2 下腿コルセット	11,900	
	C モールド		
	1 熱硬化性樹脂	23,400	
	2 熱可塑性樹脂	8,800	
足 部	A あぶみ	2,400	歩行用あぶみは、あぶみに準ずること。  足底装具は、Bの足部に準ずること。      標準靴は、完成用部品を加えることができること。
	B 足部		
	1 皮革等		
	大	13,300	
	小	6,900	
	2 モールド（熱硬化性樹脂）	13,300	
	3 モールド（熱可塑性樹脂）	7,600	
	C 標準靴	800	

(注)

1 半月及び皮革の価格は、1か所当たりのものであること。

2 補高、ヒールの補正及び足底の補正を必要とする場合は、(イ)の靴型装具に準ずること。

3 大腿支持部の坐骨支持式は、20,700円増しとすること。

4 下腿支持部のPTB式、PTS式及びKBM式は、14,200円増しとすること。

5 足板の補強を行った場合は、9,350円増しとすること。

6 カーボンは、筋力が著しく低下した方に必要であると判断された場合に用いることができるとし、カー

ボンを使用した場合は、それぞれ以下の額とすること。

- (1) 大腿支持部 52,900円
- (2) 下腿支持部 53,000円
- (3) 足部のモールド 38,400円

c その他の加算要素

名 称	種 類	価 格 円	備 考
膝サポーター	軟 性（支柱付き）	15,800	ファンロックは、ダイヤルロックに含まれること。 バネ式又はゴム式を含むものであること。
	軟 性（支柱なし）	7,200	
キャリパー		18,100	
ツイスター	軟 性	5,200	
	鋼製ケーブル	3,150	
デニスブラウン		2,500	
膝当て		4,250	
T・Yストラップ		4,900	
スタビライザー		16,800	
ターンバックル		5,550	
ダイヤルロック		8,050	
伸展・屈曲補助装置		4,350	
補高足部		47,700	
足底裏革（すべり止め用）		1,800	
高さ調整		3,500	
内張り	大腿部	2,000	
	下腿部	1,600	
	足 部	1,200	

(注)

- 1 キャリパー及びツイスターを使用する場合は、オの完成用部品を加えることができないこと。
- 2 ヒールの補正及び足底の補正を必要とする場合は、(イ)の靴型装具に準ずること。
- 3 骨盤帯を使用する場合は、(ウ)の体幹装具に準ずること。
- 4 懸垂帯を使用する場合は、(1)のエの(エ)の義足懸垂用部品に準ずること。
- 5 補高足部とは、健肢とに大幅な脚長差が生じる場合にのみ加えることができること。
- 6 補高足部は、完成用部品を加算することができること。
- 7 高さ調整の価格は、1か所当たりのものであること。
- 8 内張りは、モールドの場合に限ること。

9 デニスブラウンは、6歳未満を対象とするものに限ること。

d 先天股脱装具用の加算要素

名 称	種 類	価 格 円	備 考
リーメンビューゲル		9,750	
フォンローゼン型		13,900	
バチェラー型		29,000	
ローレンツ型	A モールド	15,700	
	B モールドフレーム		
	1 固 定 式	23,800	
	2 調 節 式	25,500	
ランゲ型		35,400	
(注)			
継手を使用した場合は、aの継手及びオの完成用部品の価格を加算できること。			

(イ) 靴型装具

a 製作要素

(a) 患 足

名 称	種 類	価 格 円	備 考
短 靴	整 形 靴	40,400	
	特 殊 靴	50,100	
チャッカ靴	整 形 靴	41,800	
	特 殊 靴	52,200	
半 長 靴	整 形 靴	43,100	
	特 殊 靴	54,100	
長 靴	整 形 靴	45,800	
	特 殊 靴	59,700	

(注)

- 1 靴型装具は、右又は左の一侧を1単位とすること。
- 2 整形靴は、標準木型に皮革、フェルト等を張って、補正して作られるものとする。
- 3 特殊靴は、陽性モデルから作成した特殊木型を用いて作られるものとする。
- 4 グッドイヤー式及びマッケイ式の価格は、2割増しとすること。
- 5 靴型装具に支柱を必要とする場合は、(ア)の下肢装具の製作要素とオの完成用部品を加えることができる。

(b) 健 足

名 称	価 格 円	備 考
短 靴	25,000	
チャッカ靴	26,000	
半 長 靴	26,900	
長 靴	28,800	

(注)

- 1 右又は左の一侧が健足である場合に加えることができる。
- 2 オの完成用部品を加えることができない。
- 3 グッドイヤー式及びマッケイ式の価格は、2割増しとすること。

b 付属品等の加算要素

名 称	種 類	価 格 円	備 考
月型の延長		4,150	
スチールバネ入り		5,200	足底より近位へ延長する場合に限ること。
トウボックス補強		2,550	
鉛板の挿入		2,650	
足背バンド		2,150	
マジックバンド（裏付き）		1,450	3個を超える場合の超える分1個当たりとすること。
補高	敷き革式	7,350	補高が2cmを超える場合は、超える部分につき2cm単位で1,550円を加算すること。
	靴の補高	3,400	補高が2cmを超える場合は、超える部分につき2cm単位で1,050円を加算すること。
ヒールの補正	トルクヒール	5,850	
	ウェッジヒール	3,400	
	カットオフヒール		
	キールヒール		
	サッチヒール		
	トーマスヒール		
	逆トーマスヒール		
	フレアヒール		
	階段状ヒール		
足底の補正	内側ソール・ウェッジ	4,400	
	外側ソール・ウェッジ		
	デンバーバー	3,400	
	トーマスバー		
	メイター半月バー		
	メタターサルバー		
	ハウザーバー		
	ロッカーバー		
	蝶型踏み返し		

(ウ) 体幹装具

a 支持部

名 称	種 類	価 格 円	備 考
頸椎支持部	A モールド（熱可塑性樹脂）		モールドのサンドイッチ構造は、18,000円増しとすること。
	1 支柱付き	38,800	
	2 支柱なし	30,000	
	B フレーム	28,900	
	C カラー		
	1 あご受けあり	13,900	
	2 あご受けなし	11,200	
胸椎支持部	A モールド（熱可塑性樹脂）		モールドのサンドイッチ構造は、14,600円増しとすること。
	1 支柱付き	39,200	
	2 支柱なし	28,600	
	B フレーム	40,700	
	C 軟 性	23,900	
腰椎支持部	A モールド（熱可塑性樹脂）		モールドのサンドイッチ構造は、11,000円増しとすること。
	1 支柱付き	26,200	
	2 支柱なし	19,500	
	B フレーム	32,800	
	C 軟 性	18,700	
仙腸支持部	A モールド（熱可塑性樹脂）		モールドのサンドイッチ構造は、9,450円増しとすること。
	1 支柱付き	21,100	
	2 支柱なし	15,500	
	B フレーム	28,600	
	C 軟 性	16,700	
	D 骨盤帯		
	1 芯のあるもの	16,200	
	2 芯のないもの	10,700	
骨盤支持部	A 皮 革（補強材を含む。）	42,100	側弯症装具の場合に限ること。
	B モールド（熱可塑性樹脂） ペルビックガードル	30,200	モールドのサンドイッチ構造は、20,800円増しとすること。



b その他の加算要素

名 称	種 類	価 格 円	備 考
体 幹 装 具 付 属 品	高さ調整	3,500	
	ターンバックル式	5,450	
	腰部継手	6,000	
	バタフライ	9,500	
	肩バンド	3,050	
	会陰ひも	2,200	
	腹圧強化バンド	3,050	
側弯症装具付属品	胸椎パッド	5,400	
	腰椎パッド	4,900	
	ショルダーリング	15,000	
	腋窩パッド	3,950	
	アウトリガー	2,950	
	前方支柱	12,000	
	後方支柱	13,500	
	側方支柱	5,350	
	ネックリング	2,150	
	胸郭バンド（プラスチック製）	17,400	
内 張 り	頸椎支持部	3,250	
	胸椎支持部	4,000	
	腰椎支持部	3,600	
	仙腸支持部	2,150	
(注) 1 高さ調整の価格は、1か所当たりのものであり、頸椎装具についてのみ加算することができること。 2 バタフライについては、モールド又はフレームの場合にのみ加えることができること。			

(エ) 上肢装具

a 継手

名 称	種 類	価 格 円	備 考
肩 継 手	A 固 定 式 (片側)	5,950	
	B 遊 動 式 (片側)	9,300	
	C 肩回旋装置	21,000	
肘 継 手 (片 側)	A 固 定 式	4,250	
	B 遊 動 式	4,250	
	C プラスチック継手	11,000	
手 継 手 (片 側)	A 固 定 式	3,500	
	B 遊 動 式	7,000	
	C プラスチック継手	9,750	
	D 鋼 線 支 柱	6,550	
M P 継 手	A 固 定 式	4,250	
	B 遊 動 式	4,750	
I P 継 手	A 固 定 式		
	1 金属 (アルミニウム)	2,600	
	2 モールド (熱可塑性樹脂)	2,100	
	B 遊 動 式	3,550	
	C 鋼 線 支 柱	1,850	
(注)			
1 固定式継手は、継手のない支柱を使用する場合にのみ用いることができること。			
2 遊動式継手は、継手のある支柱を使用する場合にのみ用いることができ、固定・遊動切替式のものも含まれること。			
3 プラスチック継手は、オの完成用部品を加えることができないこと。			

b 支持部

名 称	種 類	価 格 円	備 考
胸 郭 支 持 部 (半 身)	A モールド（熱可塑性樹脂） B フレーム	14,200 9,550	
骨 盤 支 持 部 (半 身)	A モールド（熱可塑性樹脂） B フレーム	15,700 15,500	
上 腕 支 持 部	A 半月 B 皮革等 1 カフバンド 2 上腕コルセット C モールド（熱可塑性樹脂）	3,950  5,550 9,150 8,550	モールドのサンドイッチ構造は、6,800円増しとすること。
前 腕 支 持 部	A 半月 B 皮革等 1 カフバンド 2 前腕コルセット C モールド（熱可塑性樹脂）	4,100  5,650 7,300 8,150	モールドのサンドイッチ構造は、7,000円増しとすること。
手部背側パッド	A モールド B フレーム	2,450 2,350	
手 掌 パ ッ ド	A モールド B フレーム	3,800 4,400	
(注) 半月及び皮革の価格は、1 か所当たりのものであること。			

c その他の加算要素

名 称	種 類	価 格 円	備 考
基節骨パッド	モールド フレーム	2,700 3,900	価格は、背側若しくは掌側又はその両方を1単位とすること。
中・末節骨パッド	モールド フレーム	2,250 1,800	価格は、背側若しくは掌側又はその両方を1単位とすること。
対立バー		5,200	
Cバー		4,000	
アウトリガー		2,550	
伸展・屈曲補助バネ		2,550	価格は、1か所当たりとすること。
肘当て		3,400	
ターンバックル		5,550	
ダイヤルロック		8,050	
内張り	上腕部 前腕部 手 部	1,200 1,050 950	
(注) 1 肘伸展・屈曲補助バネ又は肘伸展・屈曲補助ゴムを使用する場合は、(ア)の下肢装具に準ずること。 2 懸垂帯を使用する場合は、(1)のエの(エ)の義手用ハーネス及び義足懸垂用部品に準ずること。 3 内張りは、モールドの場合に限ること。			

オ 完成用部品

部品の名称、使用部品、価格等については、別に定めるところによること。

カ 耐用年数

(ア) 装具本体

区 分	名 称	型 式	耐用年数 <sub>年</sub>	備 考
下肢装具	股 装 具	金 属 枠	3	耐用年数以内の破損及び故障に際しては、原則として修理又は調整を行うこと。
		硬 性	3	
		軟 性	2	
	長 下 肢 装 具		3	
	膝 装 具	両 側 支 柱	3	
		硬 性	3	
		スウェーデン式	2	
	短 下 肢 装 具	軟 性	2	
		両 側 支 柱	3	
		片 側 支 柱	3	
		S 型 支 柱	3	
		鋼 線 支 柱	3	
		板 ば ね	3	
		硬 性 (支柱あり)	3	
		硬 性 (支柱なし)	1. 5	
		軟 性	2	
		鋼 索	3	
	ソ イ ス タ ー	軟 性	2	
		鋼 索	3	
	足 底 装 具		1. 5	
靴型装具			1. 5	
体幹装具	頸 椎 装 具	金 属 枠	3	
		硬 性	2	
		カ ラ ー	2	
	胸 椎 装 具	金 属 枠	3	
		硬 性	2	
		軟 性	1. 5	
	腰 椎 装 具	金 属 枠	3	
		硬 性	2	
		軟 性	1. 5	
	仙 腸 装 具	金 属 枠	3	
		硬 性	2	

		軟 性	1. 5
		骨 盤 帯	2
	側弯症装具	ミルウォーキー型	2
		金 属 枠	2
		硬 性	1
		軟 性	1
上肢装具	肩 装 具		3
	肘 装 具	両 側 支 柱	3
		硬 性	3
		軟 性	2
	手関節背屈保持装具		3
	長 対 立 装 具		3
	短 対 立 装 具		3
	把 持 装 具		3
	MP 屈曲補助装具		3
	MP 伸展補助装具		3
	指 装 具		3
	B F O		3

(イ) 完成用部品

材 料 ・ 部 品 名	耐用年数 年	備 考
継 手 類	1. 5	耐用年数以内の故障に際しては、原則として小部品の取替えにより修理又は調整を行うこと。
手 部	1. 5	
足 部	1	
その他の小部品（消耗品）	1	

キ 使用年数

年 齢	使用年数	備 考
0 歳	4 月	
1～ 2歳	6 月	
3～ 5歳	10 月	
6～14歳	1 年	
15～17歳	1 年 6 月	<p>次については、左記使用年数にかかわらず1年とすること。</p> <p>1 装具本体のうち「側弯症装具」の「硬性」及び「軟性」</p> <p>2 完成用部品のうち「足部」</p> <p>3 完成用部品を構成する「小部品（消耗品）」</p>

備 考

- 1 本表の価格は、医師の採型技術料を含まないものであること。
- 2 耐用年数は、通常の装用状態において、当該材料・部品が修理不能となるまでの予想年数を示したものであること。

(4) 座位保持装置

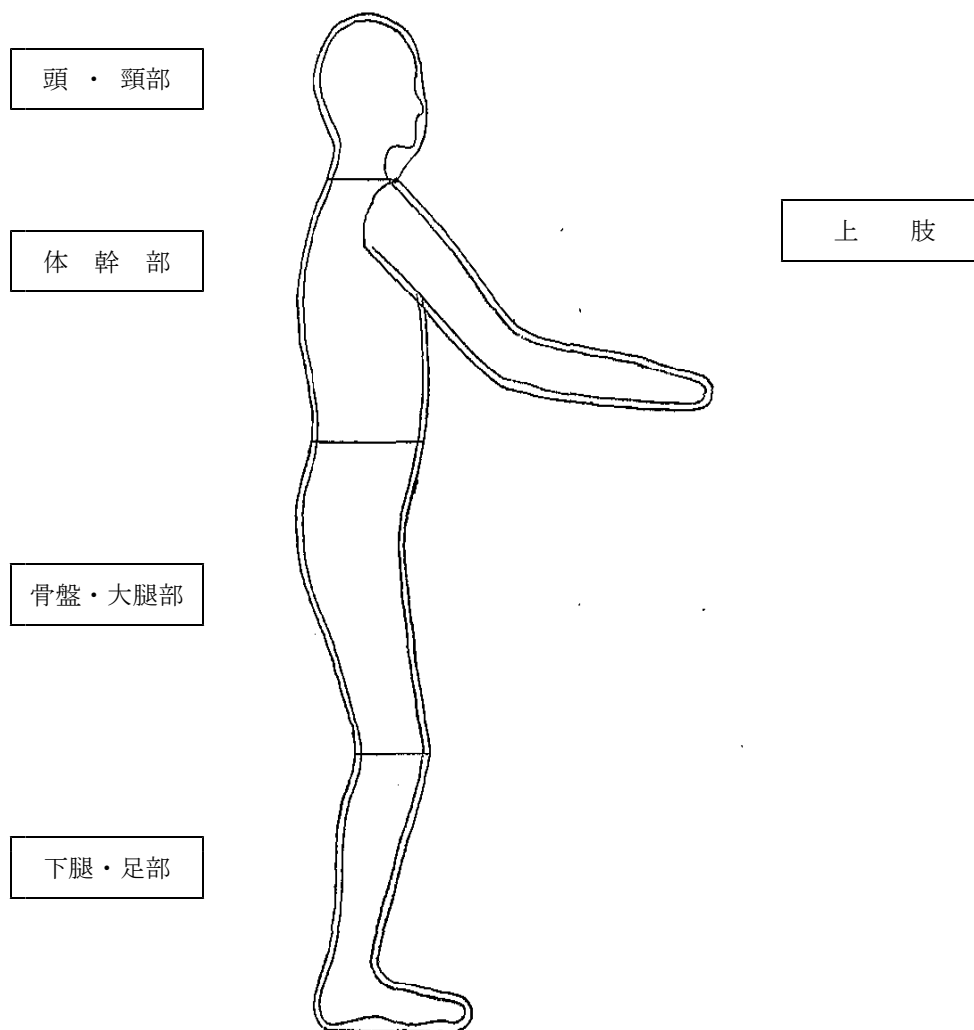
種 目	使 用 要 素 ・ 部 品 及 び 工 作 法	価 格	耐用年数 年	備 考
座 位 保 持 装 置	<p>座位保持装置として製作されるものについては、機能障害の状況により、座位に類似した姿勢を保持する機能を有する装置を含むものであること。</p> <p>アの基本工作法により、エ及びオよりそれぞれ必要な要素・部品を組み合わせることで製作すること。</p> <p>成長、発達及び姿勢保持能力の状況に適合させること。</p> <p>過度の圧迫等による不快感を生じさせないこと。</p>	<p>イの身体部位区分に従いウにより算定した基本価格に、エ及びオのそれぞれ使用する要素・部品の価格を合算した価格とすること。</p>	3	<p>耐用年数以内の破損及び故障に際しては、原則として修理又は調整を行うこと。</p>

ア 基本工作法

工 程	作 業 の 内 容
(ア) 身体状況の観察と評価	身体変形の状況及び痙直、緊張、不随意運動等の観察並びにこれらの特徴の把握並びに姿勢の決定及び使用目的の確認
(イ) 採 寸	製作に必要な寸法及び角度の測定並びに情報カードへの記録
(ウ) 採 型	採型器による陽性モデル又はギプス包帯法による陰性モデルの採型
(エ) 設計図の作成	製作に必要な設計図の作成
(オ) 陽性モデルの製作・修正	陰性モデルへのギプスの注型並びに支持部の製作に必要な陽性モデルの製作、修正、表面の仕上げ
(カ) 加工・組立て	陽性モデル及び設計図に基づく加工並びに組立て
(キ) 仮合わせ（中間適合検査）	身体への適合並びに装置の各機能の検査及び修正
(ク) 仕上げ	各部品の取付け及び仕上げ等
(ケ) 適合検査	最終的な身体への適合及び装置の各機能の検査



# イ 身体部位区分



## ウ 基本価格

身体部位	価格 円		備考
	採寸	採型	
頭・頸部	2,600	4,650	
上肢(片側)	1,300	3,300	
体幹部	11,200	21,600	
骨盤・大腿部	11,200	21,600	
下腿・足部(片側)	1,500		
(注) 身体部位の区分ごとに定める採寸又は採型の価格を組み合わせる基本価格とすること。			

エ 製作要素価格

(ア) 支持部

部 位	名 称	価 格 円	備 考
頭部	頭部支え	7,350	
上肢	上肢支え（片側）	2,850	
	前腕・手部支え（片側）	3,150	
体幹部	平面形状型	6,000	
	モールド型	41,400	採寸で製作する場合は80%の価格とすること。
	シート張り調節型	12,500	
骨盤・大腿部	平面形状型	6,000	
	モールド型	41,400	採寸で製作する場合は80%の価格とすること。
	シート張り調節型	12,500	
下腿部	下腿支え（片側）	2,300	
足部	足台（片側）	2,300	
(注) フレックス構造を持たせる場合は、1 か所につき5,200円加算できること。			

(イ) 支持部の連結

名 称	種 類	価 格 円	備 考
固 定	頸部	2,800	
	腰部（片側） 膝部（片側） 足部（片側）	2,000	
遊 動	腰部（片側） 膝部（片側） 足部（片側）	3,000	
角度調整用部品	機械式	8,750	
	ガス圧式	10,000	
	電動式	69,900	
(注) 1 固定とは、角度調節機能のない一定の角度で連結する構造をいう。 2 遊動とは、多少にかかわらず角度の変更が可能な連結構造であり、角度調整用部品を用いる場合は、使用本数分の価格を加算できること。 3 固定又は遊動について、完成用部品の継手を使用する場合は、当該完成用部品の価格とすること。 4 1の(1)又は(3)の各オに掲げる殻構造義肢又は装具の完成用部品を使用する場合は、殻構造義肢又は装具の基準に準ずること。			

(ウ) 構造フレーム

使 用 材 料	基本価格 円	備 考
木材・金属	46,000	
(注) 1 ティルト機構を付加する場合は、5,000円加算し、必要数の角度調整用部品を加算できること。 2 昇降機構を付加する場合は、6,850円加算し、必要数の角度調整用部品を加算できること。 3 完成用部品の構造フレームを使用する場合は、当該完成用部品の価格を基本価格とすること。 4 車椅子及び電動車椅子としての機能を付加する場合は、1の(5)に定める車椅子及び電動車椅子の価格を基本価格とすること。ただし、座位保持装置として製作する部分と重複することとなる部分については、2の(5)に定める車椅子及び電動車椅子の各部位の交換価格の95%に相当する価格とみなし、これを控除すること。また、リクライニング、ティルト、リクライニング・ティルトに限り車椅子及び電動車椅子側の機構を優先することとし、座位保持装置側の機構の製作要素加算は行わないこと。		

## (エ) 付属品

名 称	種 類	価 格 円	備 考
カットアウトテーブル		11,800	表面クッション張りは3,700円加算できること。
上肢保持部品	アームレスト (片側)	3,700	
	肘パッド (片側)	2,200	
	縦型グリップ (片側)	2,650	
	横型グリップ (片側)		
体幹保持部品	肩パッド (片側)	3,500	
	胸パッド	3,950	
	胸受けロール	5,550	
	体幹パッド (片側)	3,050	
	腰部パッド	3,550	
骨盤保持部品	骨盤パッド (片側)	2,150	
	臀部パッド	3,600	
下肢保持部品	内転防止パッド	3,800	
	外転防止パッド (片側)	2,100	
	膝パッド (片側)	3,300	
	下腿保持パッド (片側)		
	足部保持パッド (片側)	2,500	
ベルト部品	肩ベルト (片側)	1,950	
	腕ベルト (片側)	1,650	
	手首ベルト (片側)		
	胸ベルト	3,400	
	骨盤ベルト		
	股ベルト	3,550	
	大腿ベルト (片側)	1,800	
	膝ベルト (片側)		
	下腿ベルト (片側)		
	足首ベルト (片側)		

支持部カバー	頭部		2, 300	脱着式は2, 600円加算できること。
	上肢（片側）		1, 300	
	体幹部	平面形状型	2, 800	
		モールド型	8, 200	
		シート張り調節型	3, 300	
	骨盤・ 大腿部	平面形状型	2, 800	
		モールド型	8, 200	
		シート張り調節型	3, 300	
	下腿部（片側）		1, 300	
	足 部（片側）		1, 300	
内張り	アームレスト（片側）		1, 400	
	テーブル		3, 700	
体圧分散補助素材	頭部		3, 750	
	上肢（片側）		1, 850	
	体幹部		8, 550	
	骨盤・大腿部		8, 550	
	下腿部（片側） 足部（片側）		1, 850	
キャスター			1, 500	多機能キャスターは900円加算できること。
その他	介助用グリップ（片側）		2, 700	
	ストッパー		4, 150	
	高さ調整用台座		16, 100	
(注)				
1 各種類1個（本）当たりの額とすること。				
2 取付けに当たってマジックバンドを使用する場合は、その価格を含むものとする。				

(オ) 調節機構

名 称	種 類	価 格 円	備 考
高 さ 調 節	頭部支持部 体幹支持部 骨盤・大腿支持部	2,600	
	足部支持部（片側） アームレスト（片側）	1,600	
前 後 調 節	頭部支持部 骨盤・大腿支持部	2,700	
	足部支持部（片側）	1,650	
角 度 調 節	頭部支持部	3,100	
	テーブル	6,850	
脱 着 機 構	体幹パッド（片側） 骨盤パッド（片側） 膝パッド（片側） アームレスト（片側）	2,100	
	内転防止パッド	5,800	
開 閉 機 構	アームレスト（片側） 足部支持部（片側）	2,100	
(注) 1 それぞれを1単位とすること。 2 脱着・開閉機構で、蝶番のみやマジックバンドなどの簡便な方法によるものは、加算できないこと。			

オ 完成用部品

座位保持装置用部品の名称、使用部品、価格等については、別に定めるところによること。

備 考

- 1 本表の価格は、医師の採型技術料を含まないものであること。
- 2 耐用年数は、通常の使用状態において、当該装置が修理不能となるまでの予想年数を示したものであること。

(5) その他

種 目	名 称	基 本 構 造	付 属 品	価 格 円	耐用 年数 年	備 考
盲 人  安全つえ	普 通 用	主体—繊維複合材料 石突—耐摩耗性合成樹脂 又は高力アルミニウム合金 外装—白色又は黄色の塗装若しくは加工 形状—直式	夜光装置  ベル  ゴムグリップ	3,550	2	1 夜光装置  (1) 夜光材付とした場合は410円増しとすること。  (2) 全面夜光材付とした場合は1,200円増しとすること。  (3) フラッシュライト付とした場合は1,650円増しとすること。
		主体—木材 その他は上と同じ。	上と同じ。	1,650		(3) フラッシュライト付とした場合は1,650円増しとすること。
		主体—軽金属 その他は上と同じ。	上と同じ。	2,200	5	2 ベル付とした場合は1,650円増しとすること。
	携 帯 用	主体—繊維複合材料 石突及び外装—普通用と同じ。 形状—折たたみ式若しくはスライド式。	上と同じ。	4,400	2	3 主体木材でポリカーボネート樹脂被覆付とした場合は1,450円増しとすること。
		主体—木材 その他は上と同じ。	上と同じ。	3,700		4 ゴムグリップ付とした場合は660円増しとす

		主体—軽金属 その他は上と同じ。	上と同じ。	3,550	4	ること。
	身体支持併 用	主体—軽金属 石突—ゴム又は普通用と 同じ。 外装—普通用と同じ。 形状—直式又は折りたた み式若しくはスライド 式。	上と同じ。	3,800	4	
義 眼	レディメイ ド	主材料—プラスチック 又はガラス 既製品		17,000	2	
	オーダーメ イド	主材料—上と同じ。 特殊加工を施したもの。		82,500		
	矯 正 用	レンズ—プ ラスチック 又はガラス	6 D未満	17,600		<p>価格はレンズ2枚 1組のものとし、 枠を含むものであ ること。</p> <p>乱視を含む場合は 片眼又は両眼にか かわらず、4,200 円増しとするこ と。</p> <p>遮光用としての機 能が必要な場合は 、30,000円とする こと。</p>
			6 D以上 10 D未満	20,200		
			10 D以上 20 D未満	24,000		
			20 D以上	24,000		



					4	
	遮 光 用	主材料は上と同じ。	前 掛 式		21,500	
	コンタクト レ ン ズ	主材料—プラスチック			15,400	価格はレンズ1枚のものであること。
	弱 視 用	掛けめがね式			36,700	高倍率（3倍率以上）の主鏡を必要とする場合は、21,800円増しとする。
		焦点調整式			17,900	
	高度難聴用 ポケット型	次のいずれかを満たすもの。 ① J I S C 5512-2000 による。 90デシベル最大出力音圧のピーク値の表示値が140デシベル未満のもの。 90デシベル最大出力音圧のピーク値が125デシベル以上に及ぶ場合は出力制限装置を付けること。 ② J I S C 5512-2015による。 90デシベル入力最大出力音圧レベルの最大値（ピ		電 池 イヤモールド	34,200	価格は電池、骨導レシーバー又はヘッドバンドを含むものであること。 身体障害の状況により、イヤモールドを必要とする場合は、修理基準の表に掲げる交換の額の範囲内で必要な額を加算すること。 ダンパー入りフックとした場合は、240円増しとすること。
	高度難聴用 耳かけ型				43,900	

補聴器		ーク)の公称値が130デシベル未満のもの。 90デシベル入力最大出力音圧レベルの最大値(ピーク)の公称値が120デシベル以上に及ぶ場合は出力制限装置をつけること。			5	平面レンズを必要とする場合は、修理基準の表に掲げる交換の額の範囲内で必要な額を、また、矯正用レンズ又は遮光矯正用レンズを必要とする場合は、眼鏡の修理基準の表に掲げる交換の額の範囲内で必要な額を加算すること。 重度難聴用耳かけ型でFM型受信機、オーディオチュー、FM型用ワイヤレスマイクを必要とする場合は、修理基準の表に掲げる交換の額の範囲内で必要な額を加算すること。 デジタル式補聴器で、補聴器の装用に関し、専門的な知識・技能を有する者による調整が必要な場合は2,000円を加算すること。
	重度難聴用 ポケット型	次のいずれかを満たすものの。 ① J I S C 5512-2000による。 90デシベル最大出音圧のピーク値の表示値が140	電池 イヤモールド	55,800		
	重度難聴用 耳かけ型	デシベル以上のもの。その他は高度難聴用ポケット型及び高度難聴用耳かけ型の①に準ずる。 ② J I S C 5512-2015による90デシベル入力最大出力音圧レベルの最大値(ピーク)の公称値が130デシベル以上のもの。 その他は高度難聴用ポケット型及び高度難聴用耳かけ型の②に準ずる。		67,300		
	耳あな型 (レディメイト)	高度難聴用ポケット型及び高度難聴用耳かけ型に準ずる。ただし、オーダ	電池 イヤモールド	87,000		

		一メイドの出力制限装置は内蔵型を含むこと。			
	耳あな型 (オーダーメイド)		電池	137,000	
	骨導式ポケット型	I E C 60118-9 (1985) による。90デシベル最大フォースレベルの表示値が110デシベル以上のもの。	電池 骨導レシーバー ヘッドバンド	70,100	
	骨導式眼鏡型		電池 平面レンズ	120,000	
	普通型	原則として折りたたみ式で大車輪が後方にあるもの。 J I S T 9201-2006 又は J I S T 9201-2016による。	身体の障害の状況により、クッション、その他の付属品を必要とする場合は、修理基準の表に掲げるものを付属品とする。	100,000	
	リクライニング式普通型	バックサポートの角度を変えられることができるもの。その他は普通型と同	上と同じ。	120,000	<p>価格は、オーダーメイドによる製品及びモジュラー方式による製品（モジュールを組み立てることにより製作でき、完成後の微調整機能を有するもの。）に適用するものとし、レディメイドによる製品については、価格欄の額の75%の範囲内の額とすること。</p> <p>じょくそう 褥 瘡のある者、 じょくそう 褥 瘡の発生の危</p>

車 椅 子		じ。			陰性のある者等が クッションを必要 とする場合は、修 理基準の表に掲げ るクッション等の 額の範囲内で必要 な額を加算するこ と。 6 体幹筋力の低下等 により、座位保持 装置の完成用部品 （支持部（骨盤・ 大腿部））をクッ ションとして用い る必要がある場合 には、別に定める ところによるもの を加算すること。 身体の障害の状況 により、その他の 付属品を必要とす る場合は、修理基 準の表に掲げる交 換の額の範囲内で 必要な額を加算す ること。
	ティルト式 普通型	座席とバックサポートが 一定の角度を維持した状 態で角度を変えることが できるもの。その他は普 通型と同じ。	上と同じ。	148, 000	
	リクライニ ング・ティ ルト式普通 型	バックサポートの角度を 変えることができ、座席 とバックサポートが一定 の角度を維持した状態で 角度を変えることができ るもの。その他は普通型 と同じ。	上と同じ。	173, 000	
	手動リフト 式 普 通 型	座席の高さを変えること ができるもの。 その他は普通型と同じ。	上と同じ。	232, 000	
	前 方 大 車 輪 型	原則として折りたたみ式 で前方に大車輪のあるも の。	上と同じ。	100, 000	
	リクライニ ング式前方 大車輪型	バックサポートの角度を 変えることができるもの 。その他は前方大車輪型 と同じ。	上と同じ。	120, 000	
	片手駆動型	原則として折りたたみ式 で片側にハンドリムを二 重に装着して、片側上肢	上と同じ。	117, 000	

	障害者等が使用できるもの。		
リクライニング式片手駆動型	バックサポートの角度を変えられることができるもの。その他は片手駆動型と同じ。	上と同じ。	133,600
レバー駆動型	レバー1本で駆動操舵ができ、片側上肢障害者等が使用できるもの。	上と同じ。	160,500
手押し型	原則として介助者が押して駆動するもの。(折りたたみ式又は非折りたたみ式) A 大車輪のあるもの B 小車輪だけのもの	上と同じ。	A 82,700  B 81,000
リクライニング式手押し型	バックサポートの角度を変えられることができるもの。その他は手押し型Aと同じ。	上と同じ。	114,000
ティルト式手押し型	座席とバックサポートが一定の角度を維持した状態で角度を変えられることができるもの。その他は手押し型Aと同じ。	上と同じ。	128,000
リクライニング・ティ	バックサポートの角度を変えられ、座席	上と同じ。	153,000

	ルト式手押し型	とバックサポートが一定の角度を維持した状態で角度を変えることができるもの。その他は手押し型Aと同じ。				
電 動 車 椅 子	普 通 型 (4.5Km/h)	J I S T 9203-2006、J I S T 9203-2010又はJ I S T 9203-2016による。	外部充電器 バッテリー 身体の障害の状況により、クッション、その他の付属品を必要とする場合は、修理基準の表に掲げるものを付属品とする。	314,000	6	<sup>じょくそう</sup> 褥 瘡のある者、 <sup>じょくそう</sup> 褥 瘡の発生の危険性のある者等がクッションを必要とする場合は、車椅子の修理基準の表に掲げるクッション等及びクッションカバーの交換の額の範囲内で必要な額を加算すること。 体幹筋力の低下等により、座位保持装置の完成用部品（支持部（骨盤・大腿部））をクッションとして用いる必要がある場合には、別に定めるところによるものを加算すること。 外部充電器を必要とせず当該機能を内蔵する場合は30,000円を、外部
	普 通 型 (6Km/h)			329,000		
	簡 易 型	車椅子に電動駆動装置や制御装置を取り付けた簡便なもの。 A 切替式 電動力行・手動力行を切り替え可能なもの。 B アシスト式 駆動人力を電動力で補助することが可能なもの。 その他は車椅子の普通型に準ずる。	電動装置以外の車椅子部分は購入基準に掲げる額の範囲内で必要な額を加算すること。 外部充電器 バッテリー 電動装置以外は、車椅子の普通型に準ずる。	A 157,500 B 212,500		

	リクライニング式普通型	バックサポートの角度を変えられることができるもの。その他は普通型と同じ。	普通型と同じ。	343, 500		充電器を必要とする場合は修理基準の表に掲げる交換の額の範囲内で必要な額を加算すること。
	電動リクライニング式普通型	電気でバックサポートの角度を変えられるもの。その他は普通型と同じ。	上と同じ。	440, 000		バッテリーの価格は、修理基準の表に掲げるバッテリー交換（マイコン内蔵型に係るものを含む。）の額の範囲内で必要な額を加算すること。
	電動リフト式普通型	電気で座席の高さを変えられることができるもの。その他は普通型と同じ。	上と同じ。	701, 400		また、ＡＣサーボモーター式を必要とする場合は20, 000円増しとすること。
	電動ティルト式普通型	電気で座席とバックサポートが一定の角度を維持した状態で角度を変えられることができるもの。その他は普通型と同じ。	上と同じ	580, 000		身体障害の状況により、その他の付属品を必要とする場合は、電動車椅子の修理基準の表に掲げる交換の額の範囲内で必要な額を加算すること。
	電動リクライニング・ティルト式普通型	電気でバックサポートの角度を変えられることができ、座席とバックサポートが一定の角度を維持した状態で角度を変えられるもの。その他は普通型と同じ。	上と同じ。	982, 000		
		機能障害の状況に適合させること。 主材料―木材		24, 300	3	障害児に限る。 机上用の盤を取り付ける場合は5, 60

座位保持 椅子		アルミニウム管 スポンジ又はウ レタン 人工皮革又は布 製のカバー 外装—ニス塗装				0円増しとするこ と。 座面に軟性の内張 りを付した場合は 5,000円増しとす ること。 車載用のものは 40,700円増しとす ること。
起立 保持具		機能障害の状況に適合さ せること。 箱形とすること。 主材料—木材 外装—ニス塗装		27,400	3	障害児に限る。
	六輪型	前二輪、中二輪、後二輪 の六輪車とし、前輪を自 在車輪とすること。		63,100		サドル・テーブル 付きのもの又は胸 郭支持具若しくは 骨盤支持具付きの ものは61,000円増 しとすること。 後方支持型のもの は21,000円増しと すること。
	四輪型 (腰掛つき)	前二輪、後二輪の四輪車 とし、前輪を自在車輪と すること。		39,600		
	四輪型 (腰掛なし)	上と同じ。		39,600		



歩 行 器	三 輪 型	前一輪、後二輪の三輪車とし、前輪を自在車輪とすること。		34,000	5	
	二 輪 型	前二輪、後固定式の脚を有すること。		27,000		
	固 定 型	四脚を有し、使用時に持ち上げて移動させるもの。		22,000		
	交 互 型	四脚を有し、両二脚を交互に移動させるもの。		30,000		
頭 部 保 持 具		座位保持椅子等に装着して用いるもので、頭部を固定する機能を有するもの。		7,100	3	障害児に限る。
排 便 補 助 具		普通便所で排便が困難な場合に用い、座位排便が容易となるよう機能障害の状況に適合させること。 主材料—木材 外 装—ペンキ塗装		10,000	2	障害児に限る。
	松 葉 づ え	主体—木材（十分な強度を有するもの） 脇当—スポンジ又はウレタン製の枕 皮革、人工皮革又は布製のカバー 外装—ニス塗装 A 普通型 B 伸縮型	夜光材	A 3,300 B 3,300	2	夜光材付とした場合は、410円（全面夜光材付とした場合1,200円）増しとすること。 価格は1本当たりのものであること。 外装に白色又は黄色ラッカーを使用
		主体—軽金属		A		

歩行補助 つえ		脇当—合成軟質樹脂 握り部分—合成軟質樹脂 外装—塗装なし A 普通型 B 伸縮型		4,000 B 4,500	4	した場合は 260円 増しとすること。
	カナディアン・クラッチ	主体—アルミニウム、 鋼管 上部 4 段間隔以上、下部 9 段間隔以上の調節装置 を付けるものとする。 腕支持器 —アルミニウム鋳物 及びステンレス 鋼板 握り部分 —アルミニウム鋳物 及びゴム 外装—塗装なし	夜光材	8,000	4	
	ロフストラ ンド・クラ ッチ	カナディアン・クラッチ に準ずる。	夜光材	8,000	4	
	多 点 杖	つえの下部に三本以上の 脚を有するもの。 主体—軽金属 外装—塗装なし	夜光材	6,600	4	
	プラットホ ーム杖	カナディアン・クラッチ に準ずる。	夜光材	24,000	4	
重度障害 者用意思 伝達装置	文字等走査 入力方式	意思伝達機能を有するソ フトウェアが組み込まれ た専用機器であること 。文字盤又はシンボル等 の選択による意思の表示	プリンタ 身体障害の状況により 、その他の付属品を必要 とする場合は、修理基準 の表に掲げるものを付属	143,000	5	ひらがな等の文字 綴り選択による文 章の表示や発声、 要求項目やシンボ ル等の選択による

		等の機能を有する簡易なもの。	品とする。		伝言の表示や発声等を行うソフトウェアが組み込まれた専用機器及びプリンタとして構成されたもの。その他、障害に応じた付属品を修理基準の中から加えて加算することができること。
		簡易な環境制御機能が付加されたもの	上と同じ。	191,000	簡易な環境制御機能が付加されたものとは、1つの機器操作に関する要求項目を、インタフェースを通して機器に送信することで、当該機器を自ら操作できるソフトウェアをハードウェアに組み込んでいるものであること。
		高度な環境制御機能が付加されたもの	遠隔制御装置 その他は上と同じ。	450,000	高度な環境制御機能が付加されたものとは、複数の機器操作に関する要求項目を、インタフェースを通して機器に送信することで、当該機器を

					自ら操作することができるソフトウェアをハードウェアに組み込んでいるものであること。
		通信機能が付加されたもの	遠隔制御装置 その他は上と同じ。		通信機能が付加されたものとは、文章表示欄が多く、定型句、各種設定等の機能が豊富な特徴を持ち、生成した伝言を、メール等を用いて、遠隔地の相手に対して伝達することができる専用ソフトウェアをハードウェアに組み込んでいるものであること。
	生体現象方式	生体信号の検出装置及び解析装置	プリンタ及び遠隔制御装置を除き上と同じ。	450,000	生体現象方式とは、生体現象（脳波や脳の血液量等）を利用して「はい・いいえ」を判定するものであること。

#### 備 考

- 1 本表の価格は、医師の採型技術料を含まないものであること。
- 2 耐用年数は、通常の装用状態において、当該補装具が修理不能となるまでの予想年数を示したものであること。